

# 令和7年度 事務事業評価シート（1）

## 〔 令和6年度事務事業 〕

一般会計		事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名		舢松職能訓練センター管理事業		事業番号	
				015-015	
担当部署名		産業振興 局		産業戦略 部	
				地域産業 課	

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット	8.5
			有	取組	女性、若者、高齢者、障害者など求職者に応じた就労支援		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
		無	現状値	—	目標値	—	
2 関連計画							
3 事業開始年度		昭和 63 年度		点検対象年度		令和 7 年度	
4 実施根拠							

#### 事業の概要

5 事業の実施主体	出先機関（舢松職能訓練センター）		
6 事業の対象	自立通所が可能で、働く意欲のある心身障害者。		対象数
			9
7 事業の目的	企業への就労が困難な心身障害者に対し、一定の職業的訓練（職業能力の開発・技能養成等）と生活指導を行うことを目的とする舢松職能訓練センターの施設維持管理を行う。		
8 事業内容	堺市立舢松職能訓練センターの適切な維持管理		
	※国・府の基準より上回って実施した内容		
9 主な支出先			
10 公民連携・協働事業			

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標					
	施設の適正運営					
	当該目標を設定した理由		適正な施設運営により、心身障害者に対して職業的訓練や生活指導を行うことができるため			
目標に対する実績		施設の適正な維持管理				
12	活動指標	単位	実績		目標	
	施設の無事故稼働日数	日	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			目標値	245	243	241
			実績値	245	243	
達成率		100%	100%			
当該指標を選定した理由		施設整備を適切に行うことにより、無事故で稼働できていることが評価できるため				
目標値の設定根拠・算出方法		目標値は年間日数－休館日（土、日、祝、12/29～1/3）				

## 令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	舢松職能訓練センター管理事業	事業番号	015-015
-------	----------------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度	
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算	
事業費 (a)	1,411	2,093	1,713	1,209	410	
13 財源内訳	国支出金	0	0		0	
	府支出金	0	0		0	
	市債	0	0	0		0
	その他 ( )	0	0	0		0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0		0
	一般財源	1,411	2,093	1,713	1,209	410
14 人件費 (b)	820	810	810	810	840	
15 年間経費 (c)=(a)+(b)	2,231	2,903	2,523	2,019	1,250	

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
					R6	R7		
16 事業費内訳	堺市立舢松職能訓練センター 特殊建物等建築設備定期点検業務	R6 決算	297	297		R6	決算	
		R7 予算	300	300		R7	予算	
	施設等修繕料	R6 決算	0	0		R6	決算	
		R7 予算	100	100		R7	予算	
	消耗品費	R6 決算	19	19		R6	決算	
		R7 予算	10	10		R7	予算	
	機械・機器等借上料	R6 決算	893	893		R6	決算	
		R7 予算	0	0		R7	予算	
		R6 決算				R6	決算	
		R7 予算				R7	予算	

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分	単位	令和5年度	令和6年度
① 施設の無事故稼働日数	日	245	243
② 上記①にかかる年間経費	千円	2,903	2,019
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	11,849	8,309
算出についての説明等			

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

18	<p>施設管理者として、ソフト事業を実施する施設の職員と連絡を密に取っており、施設に不具合等が生じた際には速やかに連絡が入り、迅速に対応しているため、事故等を未然に防ぐことができています。</p> <p>令和6年度においては、修繕工事等の所用がなく、単位当たり経費を抑えることができ、効率的に施設を管理することができた。</p>
----	--

#### KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<p>本事業により施設の維持管理を行うことで、ソフト事業を実施する各関係機関が安全に障害者の職業的訓練等の機会を提供することができた。</p> <p>今後も引き続き、関係機関と調整し、安全に施設利用ができるよう施設の維持管理に努める。</p>
----	---